

令和7年度 学年別教育課程表

B 表

(表 面)

教育局 胆振

北海道室蘭清水丘高等学校

全日制課程

学科 普通科

学 級 数	第1学年	4
	第2学年	4
	第3学年	4

教科 科目・標準単位数	学年 類型	1 年	2 年	3 年
国 語	現 代 の 国 語	2	2	
	言 語 文 化	2	2	
	論 理 国 語	4		
	文 学 国 語	4		
	国 語 表 現	4		
	古 典 探 究	4	0～4	
	○ 現 代 文 総 合 I	2	2	
	○ 現 代 文 総 合 II	2～4		2～4
	○ 漢 文 研 究	2		0～2
	○ 古 典 講 読 I	2	0～2	
	○ 古 典 講 読 II	2		0～2
	○ 古 典 研 究	3		0～3
	○ 文 章 表 現	2	0～2	
	○ 発 展 現 代 文	2		0～2
地 理 歴 史	地 理 総 合	2	2	
	地 理 探 究	3		0～4
	歴 史 総 合	2	2	
	日 本 史 探 究	3		0～4
	世 界 史 探 究	3		0～4
公 民	公 共	2		
	倫 理	2		0～2
	政 治 ・ 経 済	2		0～2
	○ 倫 理 発 展	2		0～2
	○ 政 治 ・ 経 済 発 展	2		0～2
数 学	数 学 I	3	3	
	数 学 II	4		0～4
	数 学 III	3		0～3
	数 学 A	2	2	
	数 学 B	2		0～2
	数 学 C	2		0～2
	○ 実 用 数 学	2		0～2
	○ 発 展 数 学 I	2～7		0～7
理 科	○ 発 展 数 学 II	2～5		0～5
	科 学 と 人 間 生 活	2		0～2
	物 理 基 礎	2		0～2
	物 理	4		0～5
	化 学 基 礎	2	2	
	化 学	4		0～5
	生 物 基 礎	2	2	
	生 物	4		0～5
	地 学 基 礎	2		0～2
	地 学	4		
	○ 物 理 研 究	2		0～2
	○ 化 学 研 究	2		0～2
	○ 生 物 研 究	2		0～2
	○ 地 学 研 究	2		0～2
保 健 体 育	体 育	7～8	3	2
	保 健	2	1	
	○ 生 涯 ス ポ ー ツ	2		0～2
芸 術	音 楽 I	2	2	
	音 楽 II	2		0～2
	音 楽 III	2		0～2
	美 術 I	2	2	
	美 術 II	2		0～2
	美 術 III	2		0～2
	工 芸 I	2		
	工 芸 II	2		
	工 芸 III	2		
	書 道 I	2		
	書 道 II	2		
	書 道 III	2		
	○ 総 合 芸 術	2		0～2

B 表

(裏 面)

北海道室蘭清水丘高等学校

全日制課程

学科

普通科

教科	学年		1 年	2 年	3 年
	科目・標準単位数	類型			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4		
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	
	英語コミュニケーションⅢ	4			4
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2	2		
	論 理 ・ 表 現 Ⅱ	2		0～4	
	論 理 ・ 表 現 Ⅲ	2			
	○ 英 語 教 養	2		0～2	
	○ 英 語 探 究	2		0～2	
	家庭	家 庭 基 礎	2	2	
	家 庭 総 合	4			
情報	情 報 Ⅰ	2			2
	情 報 Ⅱ	2			
理数	理 数 探 究 基 礎	1			
	理 数 探 究	2～5			
家庭	服 飾 手 芸	2～4		0～2	
	フ ー ド デ ザ イ ン	2～8		0～2	
各学科に共通する各教科・科目の計			29	27～29	27～29
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	0～2	0～2
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0
総合的な探究の時間 (総 合 探 究)			3～6	1	1
合 計			30	30	30
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1
備 考	・文系を希望する生徒は、2年次で古典探究、論理・表現Ⅱ、地学基礎を、3年次で現代文総合Ⅱ、古典研究、論理・表現Ⅱ(継続)を必ず履修しなければならない。 ・理系を希望する生徒は2年次で数学Ⅱ、数学B、物理基礎、化学、物理又は生物を、3年次で現代文総合Ⅱ、化学(継続)、物理(継続)又は生物(継続)を必ず履修しなければならない。 ・2年次で、倫理を履修後に倫理発展を、政治・経済を履修後に政治・経済発展を履修できる。 ・数学Ⅰ及び数学Aは、数学Ⅰ 3単位分を前半で、数学A 2単位分を後半で履修する ・数学Ⅱ及び数学Bは、数学Ⅱ 4単位分を前半で、数学B 2単位分を後半で履修する。 ・発展数学Ⅰは数学Ⅰ・Aを、発展数学Ⅱは数学Ⅱ・Bをそれぞれ履修した生徒でなければ履修できない。 ・3年次の発展数学Ⅱ(2単位)(国立理系)は、数学Ⅲを履修する生徒でなければ履修できない。 ・2年次理系の物理基礎は、物理重視者は物理基礎、物理の順で、半期で集中して履修する。 ・物理及び生物は、2、3年次で継続して履修する。 ・物理及び化学、生物は、それぞれ基礎を付した科目を履修後に履修できる。 ・物理研究及び化学研究、生物研究、地学研究は、それぞれ物理基礎及び化学基礎、生物基礎、地学基礎科目を履修後に履修できる。 ・論理・表現Ⅱは、2単位での履修も可能である。 ・発展数学以外のⅠ、Ⅱ、Ⅲを付した科目については、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの履修順序とする。 ・2年次で音楽Ⅱ又は美術Ⅱを履修した生徒は、3年次では履修できない。				

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。